



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校

《校長室だより》

発行：校長 寺田 好江

令和2年度 第26号

令和3年 3月 1日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

「陽転思考」を身に付けよう！ 6年生 道徳科



本校では2015年から毎年、作家で営業コンサルタントの和田裕美さん提唱の「陽転思考」の授業を行っています。陽転思考とは、「人には考え方の癖があり、悪い方向に考える癖がついてしまうと、どうしても悪いほうに行きがち、そんな思考癖に『よかった!』『なんで?』という考えを入れてみよう」というものです。

誰にでも困った事や嫌なことが起こるだろう。そんな困った出来事が起こった時に、目の前の事実を受け入れ、その事実に対して「よかった」と思えることを考えていく練習をしました。

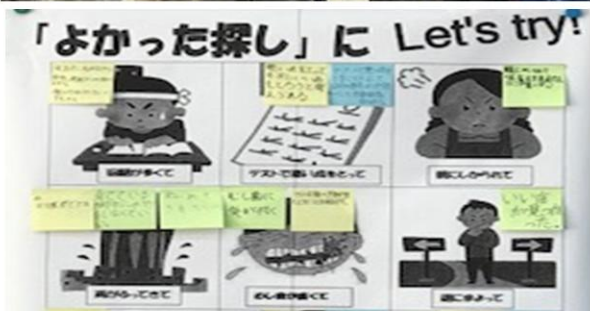
まず、サッカーの試合に負けて泣いている写真から「負けてよかったこと」を考えました。「チームの弱点がわかってよかった。」「次の試合は負けたくない。もっと練習しよう!」負けたことをプラスに考える練習です。

次に色々な場面に対して「よかった」を探しました。

*道に迷ってよかった。新しい道を発見!
*雨が降ってきてよかった。水やりをしなくて済む!
*宿題が多くて… *親に叱られて… *財布を落として…
いつもはグループ活動で行っていましたが、今年度は一人で場面を想像しながらたくさんの「よかった探し」ができました。

例年行っている、「人生よかったカルタ」を楽しむことはできませんでしたが、授業後に「楽しかった。」と話している子がたくさんいました。

もしかしたら、これからの人生でたくさん困ったことに出会うかもしれません。これから中学校に進学する6年生にとって、『陽転思考』の考え方を学んで、「よかった探し」を体験したことがプラスになると思います。



【6年生の感想から】

- *授業をしてから「陽転思考探し」をしてみたら、ミスもいいことに思えてきて、前より色々なことが楽になる気がした。
- *この授業をして、これから嫌なこともいいことに変えて考えようと思った。
- *「陽転思考」という由来に「なるほど…」と思った。初めは難しいと思ったけど、考えてみたらたくさん浮かんできた。
- *私は、物事をネガティブに考えることが多いけれど、悪いことがあっても「よかった」「なんで」と考えることによって人生がもっと楽しくなりそうだと思った。
- *何か悪いことがあっても「よかった」と考え、気持ちを明るくすることができるというとても良い事を教えてもらった。
- *「大人になっても使える」という話で担任の先生もうなずいていたから「そうなんだ」と思った。家族にも教えたい。
- *家に帰って家族に授業のことを話して、家でやった時もすごく楽しかったので、「陽転思考」ってやっぱり大切なんだと実感した。これから中学に行くので、悩むことも増えるけど「陽転思考」を思い出して前向きに頑張っていきたい。
- *中学生になって部活やテストで嫌なことがあるかもしれないけど、「陽転思考」で明るく楽しい中学校生活にしたい。